

地域づくりと養鹿、鹿産物の利用開発に向けた歩み

日本鹿皮革開発協議会

西暦年	活動内容・出来事など	備考
1972	ふるさと興し始まる（福島県・木幡雑草会）	ふるさと産品宅配第1号
1987	外来種の鹿輸入を開始	★養鹿の夜明け
1988	台湾から土佐にダマ鹿を輸入（飼育鹿：56牧場で3,198頭）	
1990	中国養鹿技術団が来日 全日本養鹿協会が発足	★鹿の道拓き
1991	鹿幼角成分効能の調査研究を実施 養鹿補助事業を開始	★山間傾斜地と鹿
1992	鹿幼角の商品開発：「気快」（森永）、「光人」（白波） 第1回鹿肉試食会（熊本）を開催 養鹿技術研修会を開催	★鹿生捕と資源利用
1993	第1回人と鹿の共存大会（北海道）を開催	★共存・資源利用・鹿異常増加防止 共催：鹿追町、鹿追町農業協同組合 他
1994	鹿産物利用研修会を開催 第2回人と鹿の共存大会（宮崎）を開催 野生鹿の被害対策を開始	共催：南郷村 他 後援：宮崎県東臼杵郡農林振興局
1995	中国の養鹿技術専門者を招待 第3回人と鹿と共存大会（栃木）を開催	共催：財21世紀村づくり塾 他 後援：農林水産省、JA全中、栃木県
1996	鹿が特用家畜に認定される 第4回人と鹿と共存大会（長崎）を開催	後援：長崎県美津島町、財21世紀村づくり塾
1997	第5回人と鹿と共存大会（岩手）を開催	共催：岩手県花巻市 他
1999	中国特産研究所と養鹿技術を交流 鹿産物利用ハンドブックを発行 馴化飼育の現地研修を開催	
2001	BSEの発生により養鹿事業が大打撃 BSEの規制始まる	
2004	野生鹿の生捕調査を実施	★未利用鹿産物を地域資源に
2006	鹿産物の利用開発と普及推進を実施 養鹿安定経営モデル指針を発行	★環境保全と鹿資源利用
2008	鹿被害対策として産物利用を開始 日本鹿皮革開発協議会が発足	
2010	奈良遷都1300年祭ファッションショーで鹿革の創作衣装を発表	★未利用資源を地域資源に／古代史と鹿文化を語り、匠で産を生む
2012	第6回人と鹿と共存大会（東京）を開催	協賛：NPO法人日本皮革技術協会、森永乳業株式会社 他
2014	第7回人と鹿と共存大会（京都）を開催	協賛：NPO法人日本皮革技術協会 他
2016	文化服装学院ファッションショーで鹿革の創作衣装を発表 BSE規制解除 日本鹿革製の印伝を商品化	テーマ：地震災害・防止祈願 ★特用家畜としての鹿の再興
2017	日本鹿製品展示会を開催	★エコ鹿革普及拡大と鹿文化を守る